

仙人通信 169 高麗山公園（浅間山：181m）

高麗山公園は JR 大磯駅の北側に位置し、高麗山・八俣山・1 等三角点の浅間山・テレビ塔の立つ湘南台から構成されるハイキングコースである。

毎朝我が家の南側のカーテンを開くと、海老名と厚木の街並みの間に最初に目に飛び込んでくる丘陵であり、展望台から我が家が確認できないか気がかりでいた山波でもある。大磯の駅から国道 1 号線に沿って、平塚方面に 300m 程歩いた点の三沢橋東から始まる東海道の松並木を進すみ鉄道の下を潜り更に進むと、先ほどの国道に出て駅から 20 分程で高来神社の鳥居である。神社に向かい参道を進むと梅の花が見ごろを迎えた高来神社（江戸時代までは高麗神社と呼ばれた）である。神社の裏手に廻ると高麗山に向かう道標があり、男坂と女坂を示している。男坂は海に近い崖を登るコースで、周囲はシラガシヤツバキ・アオキ等の緑で覆われた岩尾根である。分岐した 2 つのコースは、15 分程で合流し大堂とある高麗山山頂を目指す。10 分程で小さな石の祠のみの山頂(167m)だ。奈良時代に新羅と唐に滅ぼされた高麗の人々が難を逃れこの地に辿り着いたが、その後武蔵の高麗川に移住させられたと説明板にある。ここからは尾根コースとなり、梢越しに積雪した大山を初めとする丹沢と波頭が光る大磯の海が望める。コースは関東ふれあいの道であり良く整備され、この時期スイセンの花が登山道を飾ってくれている。小さな橋を 2 つ越えて、8 分程で八俣山山頂・5 分程で地獄谷分岐・更に 10 分程で梢越しに富士山が望める浅間山山頂(181m)である。ここにも説明板があり、富士山への女人禁制に伴い、白装束の女性がここに登った旨の説明がある。5 分程下った鞍部が大磯駅方面との分岐で、更に 10 分程登るとテレビ塔のある湘南平の山頂である。山頂には 2 つの展望台があり、360° の展望が楽しめる。

真鶴半島の先に城ヶ崎・大室山から箱根の山々・富士山・三国山から大山や仏果山等の丹沢の山脈だ。相模川を挟んで厚木・海老名の町まで見えるも霞んで我が家は確認出来ず残念！。テレビ塔の右には、江の島・三浦半島・房総半島が、大磯の町の先に大島までも望めた。眼下では、石橋山で源頼朝と共に戦った岡崎・土屋・曾我・そして土肥等の武士達の故郷だ。休憩後、浅間山との中間まで戻り、10 分程下った所にある 7 世紀の県史跡である楊谷寺谷戸横穴古墳に出る。青灰色のシルトに切妻造家形天井の 7 基を見る事が出来た。再度 5 分程戻り高田保公園へと繋がる尾根コースだ。水道用水タンクを過ぎ羽白山を経て 20 分程で明治の文豪である高田保を埋葬した記念公園である。ここからは崖に作られた住宅街の整備された道を 10 分ほど下ると、国道に出る。その先が『心なき身にも哀れは知られけり 嶋立沢の秋の夕暮』で有名な西行法師の嶋立庵である。一人静にゆっくり見学させて頂いた。国道沿いにある湘南の地名の発祥の碑そして明治に活躍した新島襄の終焉の地の碑、更に島崎藤村と妻の眠る真言宗地福寺を廻った 3 時間 45 分(16000 歩)でした。(h 3 0 . 2 . 5)

浅間山の三角点

湘南台の展望

楊谷寺谷戸古墳群

